

# 目黒区民アンケート2022

日本共産党目黒区議団

こんにちは日本共産党です。皆さんの声を区政に反映させるためのアンケートにご協力ください。あなたの声をお聞かせください。

〒153-8573目黒区上目黒2-19-15  
電話6303-1510 (直通)  
FAX5722-9344



はじめにご記入ください

該当するものに○をつけてください。

- 年齢 10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上
- 性別 ( )
- 職業 ①会社員(正規、非正規) ②公務員  
③自営業 ④年金生活者 ⑤家事専業  
⑥派遣・契約 ⑦パート・アルバイト  
⑧休職中 ⑨学生  
⑩その他 ( )
- お住いの地域町名 ( )  
例(上目黒2丁目)

## 憲法・外交などについて

1、ロシアのウクライナ侵略について、どうお考えですか。

- ①ロシアは侵略を止め撤退をするべき
  - ②ウクライナにも問題がある ③わからない
- ※ご意見をお書き下さい

2、プーチン政権は「ロシアの政権が危機に陥った場合は核兵器の使用もある」と世界を恫喝。こうした事態の中で、一部の政治家や政党から「日本と米国で核兵器を共有する」の発言が出ています。「核の共有」について、どのようにお考えですか。

- ①賛成 ②反対 ③わからない

※ご意見をお書き下さい

3、自民党や維新の会などが憲法9条改定を進めています。どうお考えですか。

- ①賛成 ②反対 ③わからない

※ご意見をお書き下さい

4、都心を航空機が低空飛行する羽田空港の新ルートが、2020年3月から実施され、区内の目黒川の上空を飛行しています。騒音や落下物の危険が指摘されていますが、新ルートについて伺います。

- ①経済の発展のためには必要
- ②都心の低空飛行は危険であり見直すべき
- ③わからない
- ④その他 ( )

## 新型コロナウイルス感染症について

1、感染症拡大であなたの生活は変わりましたか。

- ①変わった ②変わらない
- ③その他 ( )

2、目黒区にやってほしいことは、何ですか。

3、コロナ関連で困りごとがあればお聞かせ下さい。

## 暮らしについて

1、あなたの暮らし向きは、コロナ禍前と比べてどうですか。

- ①良くなった ②悪くなった ③変わらない

2、「悪くなった」理由に○を。(複数可)

- ①コロナ関連 ②給料が減
- ③年金が減 ④売り上げ・仕事が減
- ⑤失業・退職 ⑥ローン
- ⑦病気・医療費の増 ⑧介護費用の増
- ⑨国保・介護・後期高齢者医療保険料の増
- ⑩消費税・税金・公共料金の増
- ⑪家賃の増 ⑫子育て・教育費
- ⑬その他 ( )

ハサミで切り取ってから4つ折りにして封筒に入れてください

きりと

急激な  
物価高騰

# 区民生活を支える緊急対策を

新型コロナウイルス感染症による区民生活への影響に加え、燃料代、食料品、身の回り品、電気料金など物価の高騰が拍車をかけています。こうした対策は本来、国が先頭に立って行うべきものですが、目黒区としてもできる対策が必要と考え要望しました。

日本共産党  
目黒区議団

## 目黒区に 要望

- 入浴設備のない住宅に居住している住民税非課税世帯に対し、公衆浴場の入浴券支給を行うこと。
- 生活保護世帯に対し、夏季加算を行うこと。
- 区立小中学校の給食を無償化すること。
- 就学援助費を生活保護基準の1.2倍から1.5倍に引き上げること。
- 消費税率の引き下げ、インボイス制度の導入中止などを国に対し要請すること。

# 区民のみなさんの願いが実現

日本共産党も  
取り上げてきました

## 介護は切実 特養ホームが増設へ

介護を必要とする高齢者が増える中、目黒区では特別養護老人ホームの待機者は増え続け一時1000人近くにも。日本共産党目黒区議団は、特養ホームの増設を住民のみなさんとともに求め続けてきました。

ここ数年間、旧第六中学校跡地・旧第四中学校跡地、目黒3丁目国有地に3つの特養ホームが整備、利用されています。そして今年度、老朽化した区立中目黒特養ホームの改修が終わり、11人分が増えます。さらに、駒場の国家公務員住宅跡地を利用し、2025年度には、定員96人(ショートステイ12人含む)の特養ホームがオープンする予定です。今年4月1日現在、待機者は738人います。引き続き、住民のみなさんとともに、特養ホームの増設に向け頑張ります。

## 脱炭素化の推進を約束

気候危機と呼ぶべき非常事態が進み、CO2削減に向けた思い切った措置が求められています。2021年3月の区議会第1回定例会で、脱炭素社会の実現めざす「ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情」が全会一致で採択されました。党区議団も21年9月議会で、区長に対しゼロカーボンシティを宣言するとともに、学校施設の建て替え時に電力の供給にあたっての脱炭素化をめざすよう求めました。

区長は今年の第1回定例会で「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、区有施設の電力供給における脱炭素化の推進、燃料電池車の導入、および再生可能エネルギー設備にかかわる費用助成を推進するとともに、区民や事業者への意識啓発に取り組んでいくことを約束しました。

## 福祉部門が住宅相談を実施 居住支援協議会も立ち上げ

新型コロナウイルスによる感染が広がるなかで、仕事を失い、住まいを追われた人、家賃が払えず住まいを失いかねない人が増えています。特に、高齢者は定額の年金や医療費の支払いなどで生活が厳しいなか、家賃の安い物件を探しても、なかなか条件に合うものが見つかりません。

日本共産党目黒区議団は、住宅困窮者向けの相談窓口強化を求めてきましたが、今年度から区の福祉総合課で住宅相談も行われるようになりました。また、国の住宅セーフティーネット制度に基づいて低額所得者、被災者、高齢者、障害者など住宅に困っている人へ賃貸住宅を供給するための居住支援協議会を目黒区に設置するよう求め続けてきました。その結果、今年4月から福祉部局が主体となった居住支援協議会が設立されることになりました。

## 東京都 18歳まで 子どもの医療費助成の実施へ

東京都は子どもの医療費助成について、対象を18歳まで拡大する意向を示しました。今年度予算で、その準備経費を計上し、2023年度からの制度開始をめざします。現在、23区では15歳までの子どもの医療費を助成しています。

日本共産党目黒区議団は、18歳まで拡大すべきだと2016年第3回定例会の一般質問で取り上げ、都議会でも日本共産党がいくども条例提案し、都民や区民のみなさんと力を合わせてきました。所得制限と自己負担なしで実施されるよう力を尽くします。

## 日本共産党 目黒区議団ニュース

2022年初夏号  
日本共産党目黒区議団  
〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 目黒区役所内  
TEL 03-6303-1510 (直通) FAX 03-5722-9344  
メール jcpmkd@topaz.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.jcpmkd.jp/



ご意見をお寄せください



石川恭子区議 ☎080-3408-0027  
岩崎ふみひろ区議 ☎080-3424-1200  
松嶋祐一郎区議 ☎090-9880-4234  
斉藤優子区議 ☎090-7265-0199  
芋川ゆうき区議 ☎090-4206-2048